

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校北海道自動車整備大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	一級自動車整備学科	夜・通信	412 時間	320 時間	
	二級自動車整備学科	夜・通信	339 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校北海道自動車整備大学校
設置者名	学校法人吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)は、教育課程編成委員会(年2回)における意見交換等を経て科目担当教員と学科責任者の協議により作成する。 なお、最終確認及び承認は教務部内の会議により確定する。(2月末) ・項目は、授業科目、担当教員(実務経験の有無含む)、講義目的、到達目標、成績評価方法・基準、テキスト・参考図書、受講条件、履修上の留意事項、各回ごとの授業内容等が記されており、学生の学習向上を目指すことを基本方針とする。 ・「学生便覧」に教育課程が記載されており、キャンパスプランポータルサイトにて公開している。 ・授業計画(シラバス)は、2月末を目途に完成後、4月以降HPの情報公開に掲載されている。なお、授業開始時に各授業科目の担当者がシラバスの内容説明を行う。	
授業計画書の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・授業科目の成績評価は、定期試験、授業担当者が必要に応じて実施する試験、課題、レポート並びに平素の学習活動等を総合的に勘案して行う。

※定期試験について

定期試験を受験できる者は、履修する授業科目の出席時間数が指定基準を満たしている者とする。

定期試験は原則としてその科目の修了及び学期の途中と終わりに実施する。

- ・科目毎の出席率が 90%に満たない者は、その科目について評価を受けることができない。
- ・成績の評価は 100 点満点とし、点数により A (80 点以上)、B (79 点から 70 点)、C (69 点から 60 点)、D (60 点未満) に分類、A～C を合格とし単位の修得を認める。
- ・成績判定会議は原則として後期末に行われ、審議を経て校長が認定する。

《 評価基準 》

評価	評価	目標達成度
A	100 ～ 80	十分満足できると判断され、高い程度のもの
B	79 ～ 70	十分満足できると判断されるもの
C	69 ～ 60	おおむね満足できると判断されるもの
D	60 未満	不十分と判断されるもの

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績管理システムを活用し、個人の各科目における評点の合計を履修科目数で平均化することにより順位付けがされ成績の分布状況等を把握している。
- ・成績判定会議において認定された評価はデータ管理されており、その評点平均値を成績評価の指標とし成績管理を適切に行う。
- ・単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。

※クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施する。

必要に応じて保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って指定授業時間数以上を履修し所定の単位を取得したときは、所定の会議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。 ・卒業に必要な指定授業時間数は、次のとおりとする。 (1) 二級自動車整備学科に於いては、学科 635 時間、実習 1,264 時間、合計 1,899 時間の指定授業時間を履修すること (2) 一級自動車整備学科に於いては、学科 973 時間、実習 1,936 時間、実務実習 1,004 時間、合計 3,913 時間の指定授業時間を履修すること ・卒業は修業年限以上在学した場合とする。 ・上記に該当しない場合は、現学年に留め置き、当該学年の全教育課程を再履修させるものとする。 ・原則として後期末に行われる成績判定会議を進級・卒業判定会議と位置づけ、審議を経て校長が認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校北海道自動車整備大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
財産目録	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
事業報告書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
監事による監査報告（書）	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	一級自動車整備学科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	3, 913 単位時間／単位	973 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2, 940 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			3, 913 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		128 人	人	14 人	1 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） - 授業計画は、科目担当教員と学科責任者の協議により作成する。 なお、最終確認及び承認は教務部内の会議により確定する。（2月上旬） - 項目は、授業科目、担当教員（実務経験の有無含む）、講義目的、到達目標、成績評価方法・基準、テキスト・参考図書、受講条件、履修上の留意事項、各回ごとの授業内容等が記されており、学生の学習向上を目指すことを基本方針とする。 「学生便覧」に教育課程が記載されており、キャンパスプランポータルサイトにて公開している。 「シラバス」はHPの情報公開に掲載されている。 なお、授業開始時に各授業科目の担当者がシラバスの内容説明を行う。

成績評価の基準・方法																	
(概要) - 授業科目の成績評価は、定期試験、授業担当者が必要に応じて実施する試験、課題、レポート並びに平素の学習活動等を総合的に勘案して行う。 ※定期試験について - 定期試験を受験できる者は、履修する授業科目の出席時間数が指定基準を満たしている者とする。 - 定期試験は原則としてその科目の修了及び学期の途中と終わりに実施する。 - 科目毎の出席率が90%に満たない者は、その科目について評価を受けることができない。 - 成績の評価は100点満点とし、点数によりA(80点以上)、B(79点から70点)、C(69点から60点)、D(60点未満)に分類、A～Cを合格とし単位の修得を認める。 - 成績判定会議は原則として後期末に行われ、審議を経て校長が認定する。 《評定基準》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評定</th><th>評価</th><th>目標達成度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td><td>100 ～ 80</td><td>十分満足できると判断され、高い程度のもの</td></tr> <tr> <td>B</td><td>79 ～ 70</td><td>十分満足できると判断されるもの</td></tr> <tr> <td>C</td><td>69 ～ 60</td><td>おおむね満足できると判断されるもの</td></tr> <tr> <td>D</td><td>60 未満</td><td>不十分と判断されるもの</td></tr> </tbody> </table>			評定	評価	目標達成度	A	100 ～ 80	十分満足できると判断され、高い程度のもの	B	79 ～ 70	十分満足できると判断されるもの	C	69 ～ 60	おおむね満足できると判断されるもの	D	60 未満	不十分と判断されるもの
評定	評価	目標達成度															
A	100 ～ 80	十分満足できると判断され、高い程度のもの															
B	79 ～ 70	十分満足できると判断されるもの															
C	69 ～ 60	おおむね満足できると判断されるもの															
D	60 未満	不十分と判断されるもの															
卒業・進級の認定基準																	
(概要) - 教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って指定授業時間数以上を履修し所定の単位を取得したときは、所定の会議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。 - 卒業に必要な指定授業時間数は、次のとおりとする。 (1) 一級自動車整備学科に於いては、学科 973 時間、実習 1,936 時間、実務実習 1,004 時間、合計 3,913 時間の指定授業時間を履修すること - 卒業は修業年限以上在学した場合とする。 - 上記に該当しない場合は、現学年に留め置き、当該学年の全教育課程を再履修させるものとする。 - 原則として後期末に行われる成績判定会議を進級・卒業判定会議と位置づけ、審議を経て校長が認定する。																	
学修支援等																	
(概要) - クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施する。 必要に応じて保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。 - 保護者に対し学習成績(年4回)を発送しており、学習効果や生活状況を共有している。																	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	0 人 (0%)	38 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車ディーラー等自動車業界関係企業			
（就職指導内容） ・ クラス担任と就職担当者が連携し指導・対応を行う。 ・ 就職希望アンケート、業界研究セミナー（オンライン 2 月）、履歴書作成、個別面談、受験指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ 一級小型自動車整備士登録試験（学科） 合格率 92.1%（35/38 名） ・ 二級ガソリン自動車整備士登録試験 合格率 97.4%（37/38 名） ・ 二級ジーゼル自動車整備士登録試験 合格率 94.7%（36/38 名）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 5 6 人	9 人	5. 8 %
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・ 学生に関する情報共有及び個別面談の徹底を心掛ける。 ・ オープンキャンパス時、三者面談、保護者説明会において教育内容等の理解を図る。 ≪学業不振者≫ 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 ≪学校生活習慣の乱れ≫ クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取り組みをしている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	二級自動車整備学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1, 899 単位時間／単位	635 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1, 264 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1, 899 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		94 人	人	14 人	1 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） ・授業計画は、科目担当教員と学科責任者の協議により作成する。 なお、最終確認及び承認は教務部内の会議により確定する。（2月上旬） ・項目は、授業科目、担当教員（実務経験の有無含む）、講義目的、到達目標、成績評価方法・基準、テキスト・参考図書、受講条件、履修上の留意事項、各回ごとの授業内容等が記されており、学生の学習向上を目指すことを基本方針とする。 ・「学生便覧」に教育課程が記載されており、キャンパスプランポータルサイトにて公開している。 ・「シラバス」はHPの情報公開に掲載されている。 なお、授業開始時に各授業科目の担当者がシラバスの内容説明を行う。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） ・授業科目の成績評価は、定期試験、授業担当者が必要に応じて実施する試験、課題、レポート並びに平素の学習活動等を総合的に勘案して行う。 ※定期試験について 定期試験を受験できる者は、履修する授業科目の出席時間数が指定基準を満たしている者とする。 定期試験は原則としてその科目の修了及び学期の途中と終わりに実施する。 ・科目毎の出席率が90%に満たない者は、その科目について評価を受けることができない。 ・成績の評価は100点満点とし、点数によりA（80点以上）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（60点未満）に分類、A～Cを合格とし単位の修得を認める。 ・成績判定会議は原則として後期末に行われ、審議を経て校長が認定する。 《評定基準》 <table> <tr> <th>評定</th><th>評価</th><th>目標達成度</th></tr> <tr> <td>A</td><td>100 ～ 80</td><td>十分満足できると判断され、高い程度のもの</td></tr> <tr> <td>B</td><td>79 ～ 70</td><td>十分満足できると判断されるもの</td></tr> <tr> <td>C</td><td>69 ～ 60</td><td>おおむね満足できると判断されるもの</td></tr> <tr> <td>D</td><td>60 未満</td><td>不十分と判断されるもの</td></tr> </table>			評定	評価	目標達成度	A	100 ～ 80	十分満足できると判断され、高い程度のもの	B	79 ～ 70	十分満足できると判断されるもの	C	69 ～ 60	おおむね満足できると判断されるもの	D	60 未満	不十分と判断されるもの
評定	評価	目標達成度															
A	100 ～ 80	十分満足できると判断され、高い程度のもの															
B	79 ～ 70	十分満足できると判断されるもの															
C	69 ～ 60	おおむね満足できると判断されるもの															
D	60 未満	不十分と判断されるもの															

卒業・進級の認定基準
(概要) ・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って指定授業時間数以上を履修し所定の単位を取得したときは、所定の会議を経て各学年の課程の修了又は卒業を認定する。 ・卒業に必要な指定授業時間数は、次のとおりとする。 (1) 二級自動車整備学科に於いては、学科 660 時間、実習 1,393 時間、合計 2,053 時間の指定授業時間を履修すること ・卒業は修業年限以上在学した場合とする。 ・上記に該当しない場合は、現学年に留め置き、当該学年の全教育課程を再履修させるものとする。 ・原則として後期末に行われる成績判定会議を進級・卒業判定会議と位置づけ、審議を経て校長が認定する。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起、面接指導を実施する。 必要に応じて保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。 ・保護者に対し学習成績（年 4 回）を発送しており、学習効果や生活状況を共有している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41 人 (100%)	0 人 (0%)	38 人 (92.7%)	3 人 (7.3%)
(主な就職、業界等) 自動車ディーラー等自動車業界関係企業			
(就職指導内容) ・クラス担任と就職担当者が連携し指導・対応を行う。 ・就職希望アンケート、業界研究セミナー（オンライン 2 月）、履歴書作成、個別面談、受験指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・二級ガソリン自動車整備士登録試験 合格率 95.1% (39/41 名) ・二級ジーゼル自動車整備士登録試験 合格率 92.7% (38/41 名)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	9人	9.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学生に関する情報共有及び個別面談の徹底を心掛ける。 ・オープンキャンパス時、三者面談、保護者説明会において教育内容等の理解を図る。 《学業不振者》 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 《学校生活習慣の乱れ》 クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取り組みをしている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
一級自動車整備学科	100,000円	770,000円	270,000円	入学検定料、教育充実費
二級自動車整備学科	100,000円	770,000円	270,000円	入学検定料、教育充実費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
・学校関係者評価委員会は、卒業生、保護者、地域住民、企業関係者、高等学校関係者、その他教育に関する有識者3名以上により構成する。 ・学校関係者評価委員会は、年1回、原則8月に実施し、主に次の評価項目(教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果・教育成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、教育の内部質保証システム、財務、社会貢献・地域貢献、国際交流)に対して行う。 ・学校関係者評価委員会実施後、学校(校長)は当該委員会においての意見・評価について、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 札幌地方自動車整備振興会 常務理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
ダイハツ北海道販売株式会社 法人営業部 部長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
北海道スバル株式会社 総務部 人事教育課 課長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
北海道いすゞ自動車株式会社 総務部 人事課 次長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
株式会社エステイビジネスアシスト 人材開発部 次長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/seibi/
--